

児死亡率
分からず

16年の県人口動態

県は二日、厚生労働省が一日にまとめた十六年の人口動態統計(概数)について、分析結果を示した。前年に初めて全国ワーストとなつた一歳未満の乳児死亡率(人口千人当たり)は、全国平均を下回つて全国四十二位と改善されたものの、「明確な原因は不明」として引き続き注視していくとした。また三九・一で十年連続全国ワーストとなつた自殺による死亡率(同)については、「前年より5・5%低下しており、自殺予防対策モ

前年の最下位から改善



4氏に奨励賞授与

山下太郎
顕彰育英会

大森町 さらなる精進誓う

賞には、海外の留学生か
らも心募があるな」と云が

りが出てきた。地域文化奨励賞への応募も促進していきたい」とあいさつした。受賞者は研究概要を説明しながら、さらなる精進を誓っていた。同育英会は同町出身の山下太郎（一八八九—一九六七）の遺志を継いだ夫人が提供した十億円で平成元年に設立。研究助成と奨学援助事業を行っている。

切にするロシアの採用してほしい。在の仕事の事無駄になつて再要になる」とい的な意見が出た。」
択捉島の集会

ロシア側島民らと
「混住」で意見交換
領土訪問終え帰港

北方四島とのビザなし交流で国後、択捉両島を訪問していた高橋はるみ北海道知事は二日、根室港に戻った。訪問團に初めて参加した高橋知事は現地で、ロシア側島民らとの対話集会に出席、領土問題解決後の日本人との「混住」の是非などについて意見交換した。訪問は五月三十日か

ら、道知事の北方領土問題の地元住民ら約十人が「ロシアの本当の領土が何であるか」などと書いた横断幕を広げ、抗議した。対話集会では、混住の際の問題点に関して、現島民から「少数民族を大

訪問は一九九七年の根室達也前知事以来で三人目。

国後島到着時、返還反対派の地元住民ら約十人が「ロシアの本当の領土が何であるか」などと書いた横断幕を広げ、抗議した。対話集会では、混住の際の問題点に関して、現島民から「少数民族を大

んな方法が有効かを把握し全般的な取り組みを続けていきたい。

「ひでい」とした
このほか、死因別でハ
年連続全国ワーストとな
った悪性新生物（がん）
は三千七百九十四人で前
五月三十一日に北海道
内の食肉処理場での一次
検査で疑陽性とされ、北
海道大と帶広畜産大の二
次検査も陽性だった。

年から五六十人減
連続最下位の脳血管疾患
は千八百八十五人で同一
十四人減と、「どうわざ

かながら改善の兆
課)をみせた。



時間 午後
開場、6時半後9時終了予
料金 (記念品付) 定員 5人
申し込み 大町セントラル
大町1丁目
秋田魁新報 局、秋田魁新報
秋田キヤツ

文
形